

取扱説明書

取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は大切に保管してください。

⚠️ 注意

- 犬猫が食べる草以外の用途に使用しないでください。
- 幼児の手の届く所で使用、保管しないでください。
- 殺虫剤や薬剤がかかった場合は犬猫に食べさせないでください。
- 火気の近く、階段や倒れやすい物のそばに置かないでください。
- 犬猫に土を食べさせないでください。

開封後お確かめください。

- 種子 2袋
- 培養土 2コ
- 栽培ケース 1コ
- スプーン 1コ

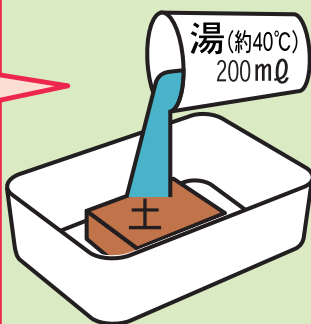
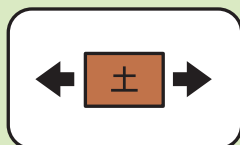
■ 育て方

土はケースの中心に下図のようにセットしてください。土は矢印の方向に膨張します。

1

培養土を栽培ケースの中心に置いて上からぬるま湯（約40℃）200mℓを一気に注ぎ、土が完全に膨張するまで約2～3分待ちます。

※湯の代わりに水でも使えますが、水温や環境などにより、湯の使用がより適している場合があります。

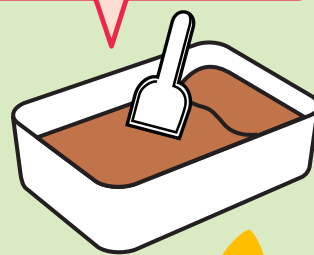


2

スプーンでほぐして水分を全体に行きわたらせて土の温度を冷まし、平らにならして表面1cm分の土を端によけます。

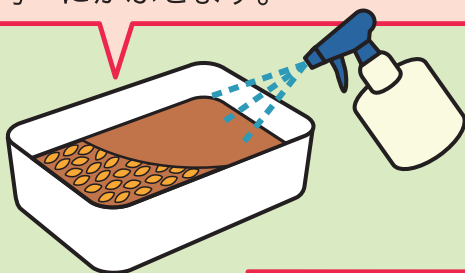
POINT

よく混ぜて土全体にまんべんなく適度な水分が行きわたらせることが大切です。水分が行きわたらないようなら少しずつ水を足します。



3

種子を全体にまいてよけた土を均一にかぶせます。



かぶせた土に水20～40mℓをかけます。霧吹きなどを使うとよいでしょう。

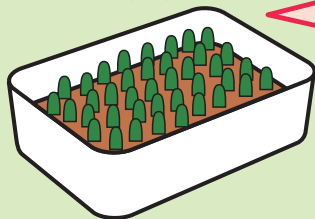
水の入れ過ぎに注意してください。

種子が呼吸できずに腐ってしまいます。

多く入れ過ぎた場合は、ケースを傾けて余分な水分を切ってください。



4

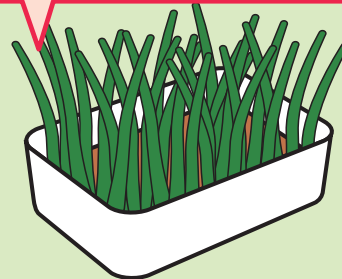


高温、多湿、冷暖房の風を避けて発芽を待ちます。

- 約2～3日で発芽したら日光に当てましょう。
- 表面の土が乾いたら水をかけましょう。

5

発芽後7～10日で約10cm成長し、食べさせることができます。



- 種をまいた後に土の表面が乾いたら霧吹きなどで水をかけて湿らせた状態にしてください。
- 土が乾燥すると枯れる原因になります。また水のやりすぎも根腐りの原因になりますので注意してください。
- 真夏の直射日光は避けて、風通しの良い所で栽培してください。
- 冬期は発芽および成長ともに多少遅れます。
- 肥料を与える必要はありませんが、成長の悪いときは薄い液肥を与えると成育がよくなります。
- 土は植物性培養土ですので、使用後は可燃性ゴミとして処分してください。